

周産期の質と安全の向上のための研究

Improvement of NICU practice and Team Approach Cluster randomized controlled Trial

フォローアップ(3歳用)Q&A集

Ver. 1



平成23年度厚生労働科学研究(地域医療基盤開発推進研究事業)

「周産期の質と安全の向上のための研究」

(研究代表者:楠田 聡)

(「アウトカムの評価」分担研究者:河野由美)

第1版 2014年10月4日

3歳のフォローアップ Q&A

1. 3歳の評価年齢

Q 1 3歳健診となっていますが、3歳前に実施してもよいのでしょうか？

- 原則、暦年齢3歳0か月以降（3歳の誕生日以降）をお願いします。
期間は3歳0か月（36か月）から3歳6か月未満（3歳5か月まで）ですので、その間に実施して下さい。

2. CPの臨床評価

Q 2 3歳でのGMFCSの分類は？

- GMFCSの分類は、CP児の粗大運動能力を重症度別にレベル1～5の5段階に分類する判別的尺度です。
- 脳性麻痺がある場合は、GMFCS分類での評価は必須です。
- 粗大運動能力機能に制限のない場合は0を記入して下さい。
- 詳細はマニュアルや評価シートを参照して下さい。判定は直感的に可能です。「できないこと」から判定すると比較的容易です。

0

1 普通に歩くが通常より開始が遅い（18か月～2歳）、歩き方がぎこちない

2 伝い歩きで移動、一人で座位がとれる、交互性のある四つ這い

3 割座ができる、肘を使った這い這いで移動

4 座位保持にヒトや器具の支えが必要、寝返り、腹ばいで移動

5 自力による移動は困難。支えても座位は保持できない

例) レベル2と3のちがい

つたい歩きはできないが、下肢を交互にけて四つ這いができる→レベル2

通常の座位が安定しないですぐに倒れる、主に肘を使った這い這い→レベル3

3. 発達評価

Q 3 どうしても新版K式ができなかった場合はどうしたらよいのでしょうか？

- 「発達検査を実施しましたか？」の問いは、「いいえ」にチェックしてください。
試みたが完了できずにチェックを入れて下さい
- 途中まで新版k式を実施した発達検査の欄では、新版 K 式検査にチェックして、数値化できるものがあれば数値を登録してください。

- 新版 K 式はできなくても、遠城寺式などの質問式の検査は可能なことがほとんどです。できるだけその他の発達検査を実施し、その数値を記入して下さい。

参考資料「**遠城寺式乳幼児分析的発達検査法**」慶応義塾大学出版会より検査用紙は購入できます
→「**見本**」最後のページ

- 発達評価は、以下の順で、評価結果を優先します。
 - 1) 新版 K 式検査結果
 - 2) その他の発達検査結果
 - 3) 主治医判定

Q 4 修正年齢での DQ は必要ですか？

- 必要です。
3 歳では、暦年齢、修正年齢の両方の評価で DQ を入力して下さい。超早産児では、修正年齢での評価が必要な場合が少なくありません。事務局では生年月日を把握していないため、暦年齢 DQ から修正年齢での DQ を計算すると誤差が生じてしまいます。心理士さんには両方で算出することをお願いしています。各主治医で両方の数値の把握と記入をお願いします。

Q 5 主治医判定の基準について教えてください。

- 評価シートにあるように、ボーダーライン、遅滞、重度遅滞の判定の遅れの程度の目安は以下のとおりです。
- Q 3 にもあるように、新版 K 式ができない場合には、できるだけその他の発達検査を行って評価をお願いします。

正常発達	(DQ ≥ 85 or 6 か月未満の遅れ)
ボーダーライン	(DQ 70-84 or 6 か月以上 11 か月未満の遅れ)
遅滞	(DQ 55-69 or 11 か月以上 16 か月未満の遅れ)
重度遅滞	(DQ < 55 or 16 か月以上の遅れ)

Q 6 主治医判定をしようと思いますが、運動や指の使い方、積み木などはできるのに言葉だけが遅れています。どのように判定したらよいのでしょうか？

- Q 3 にもあるように、できるだけ他の検査を実施して、全体の発達レベルを評価して下さい。遠城寺式による総合評価も可能です。主治医判定をする場合には、根拠を記入して下さい。

4. 視力障害

Q 7 3 歳での視力障害の評価の基準を教えてください。

- 両眼での視機能の評価します。
- 眼鏡を使用している場合はつけた状態で。

- 眼科医の判定は必須ではありません。
- 3歳で正常な矯正視力は0.5以上程度です。
- 3歳でも3段階での評価とします。評価に迷う場合には眼科医にコンサルトをすすめます。
 - ① 正常またはほぼ正常（矯正視力0.2以上）→NDIなし
 - ② **弱視**（矯正視力で0.1程度、手動弁～指動弁に相当、障害があるが見える、眼振がある）→NDI
 - ③ **盲**、あるいはそれに近い状態（光覚のみ）→SND

5. 聴力障害

Q 8 3歳での聴力障害の評価の基準を教えてください。

- 補聴器の使用の有無
- 補聴器を使用している場合はつけた状態で、両耳での聴覚機能を判定。
- 耳鼻科医の判定は必須ではありません。
- 1歳半の時と同じ判定です。
- 4段階
 - ① 正常またはほぼ正常→NDIなし
 - ② 補聴器で補正可能（40-70dB未満程度）→NDI
 - ③ 補聴器でも完全には補正不能（70dB以上-90dB程度）→NDI
 - ④ 補聴器でもほとんど聞えていない（>90dB）、または聾→SDN

6. 行動の評価

Q 9 3歳での行動の評価の基準を教えてください。

行動の評価は、3歳時の評価です。

3歳頃の超早産児や超低出生体重児の多くに、多動やASD等の行動の特徴が認められることは比較的多くみられますが、発達障害の診断にはいたらない例も多くあります。ここでの行動評価は3歳時の行動の特徴を明らかにするもので、その後の診断は問わないものです。

多動 について

3歳での多動は、知的障害、自閉症スペクトラム、AD/HDなどのリスクファクターとしてみられ、診断は困難なため、「落ちつきがない」かどうかのみ評価します。

同年齢の児に比して著しく落ちつきがない場合を多動ありとします。

例) 食事が終わるまで座って食べられるか？

スーパー、デパートで自分の好きなところに行ってしまう迷子になったことはないか？

自閉症スペクトラム障害（ASD） について

ASD は、自閉症、非定型自閉症、Asperger 障害などのスペクトラムがあり、2013 年から DMS-V が診断基準として用いられるようになってきました。DMS-V では下位診断分類が消失し、アスペルガーという言葉がなくなりました。典型例では 3 歳で診断されることもあります。一方、低出生体重児ではマイペース、感覚過敏などの症状が乳幼児期に一時的にみられることもあります。

INTACT では ASD について、診断あり、疑いあり、をそれぞれ主治医あるいは専門医の判定で評価します。主治医判定には、ASD を疑う行動の特徴として下記を参考にします。

自閉症スペクトラムの行動上の特徴

1. 視線があいにくい（自分から要求のあるときは除く）
2. 会話が続きにくい（質問の意図にそった返答ができない。話がそれやすい）
3. 同年代の子どもと年齢相応の友達関係がもてない（お遊戯にすすんで参加したり、他の子どもたちの働きかけに積極的にこたえたりすることができない）
4. 人にかかわられた時の対応が場にあっていない
5. 初めてのことが苦手だったり、やり方や順番が変更になると混乱する
6. 極端に熱中したり、一般的にはあまり興味を持たれないことに熱中することがある

(参考)DMS-V の診断基準

A ブロック：対人的コミュニケーションと相互作用の障害 3 点を全て満たす

1. 対人的情緒的操作 (IV から変化なし)
2. 対人相互的な非言語的コミュニケーション (視線や表情等) (IV から変化なし)
3. 状況にあった関係作りの障害 (ごっこ遊びや居合わせたグループ内での関係作りが困難、仲間への関心が薄い)

B ブロック：限局された反復する行動や興味 (こだわり) → 4 点を 2 つ以上満たす

1. エコラリア (IV では入ってなかった)、常同・反復行為
2. 同一性へのこだわり (儀式)
3. 著しく限局された興味
4. 感覚刺激の反応亢進または低反応 (IV では入ってなかった)

C 幼少期より症状がみられる、ただし本人の能力を越えた対人的状況となるまで顕在化しない事がある (幼児期・学童期に問題が見られず、青年期に孤立し始めるケースを示しています)

遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表 (九大小児科改訂版)

氏名	生年月日	年 月 日生	男 女	外来番号	検査年月日	1.	年月日	3.	年月日
						2.	年月日	4.	年月日
			診 断						
4: 8				スキップができる	紙飛行機を自分で折る	ひとり衣着ができる	砂場で二人以上で協力して一つの山を作る	文章の復唱 (2/3) <small>(子供が二人ランコに集っています。山の上に大きな月が出ました。まのうお母さんと貝物に行きました。)</small>	左右がわかる
4: 4				ランコに立ちのりしてこぐ	はずむボールをつかむ	信号を見て正しく道路をわたる	ジャンケンで勝負をきめる	四数詞の復唱 (2/3) <small>5-2-4-9 6-8-3-5 7-3-2-8</small>	数の概念がわかる (5まで)
4: 0				片足で数歩とぶ	紙を直線にそって切る	入浴時、ある程度自分で体を洗う	母親にこたわって友達の家遊びに行く	両親の姓名、住所を言う	用途による物の指示(5/5) <small>(本、鉛筆、時計、いす、電燈。)</small>
3: 8				幅とび (両足をそろえて前にとぶ)	十字をかく	鼻をかむ	友達と順番にものを使う (プランコなど)	文章の復唱 (2/3) <small>(きれいな花が咲いています。飛行機は空を飛びます。じょうずは歌をないます。)</small>	数の概念がわかる (3まで)
3: 4				でんぐりがえしをする	ボタンをはめる	顔をひとり洗う	「こうしていい?」と許可を求める	同年齢の子供と会話ができる	高い、低いかわかる
3: 0				片足で2-3秒立つ	はさみを使って紙を切る	上着を自分で脱ぐ	ままごとで役を演じることが出来る	二語文の復唱 (2/3) <small>(小さな人形、赤いふうせん。)</small> <small>(おいしいお菓子。)</small>	赤、青、黄、緑がわかる (4/4)
2: 9				立ったままでくるとまわる	まねて○をかく	靴をひとりではく	年下の子供の世話をやきたがる	二数詞の復唱 (2/3) <small>5-8 6-2 3-9</small>	長い、短いかわかる
2: 6				足を交互に出して階段をあがる	まねて直線を引く	こぼさないでひとり食べる	友達とけんかをすると言いつけにくる	自分の姓名を言う	大きい、小さいがわかる
2: 3				両足でびよんびよん跳ぶ	鉄棒などに両手でぶらさがる	ひとりでパンツを脱ぐ	電話ごっこをする	「きれいな」「おいしいな」などの表現ができる	鼻、髪、歯、舌、へそ、爪を指示する (4/6)
2: 0				ボールを前にける	積木を横に二つ以上ならべる	排尿を予告する	親から離れて遊ぶ	二語文を話す (「わんわんきた」など)	「もうひとつ」「もうすこし」がわかる
1: 9				ひとり一段ごとに足をそろえながら階段をあがる	鉛筆でぐるぐるまをかく	ストローで飲む	友達と手をつなぐ	絵本を見て三つもの名前を言う	目、口、耳、手、足、腹を指示する (4/6)
1: 6				走る	コップからゴップへ水をうつす	パンツをはかせるとき両足をひろげる	困難なことに会おうと助けを求める	絵本を見て一つのものの名前を言う	絵本を読んでもらいたがる
1: 4				靴をはいて歩く	積木を二つ重ねる	自分の口もとをひとりでふこうとする	簡単な手伝いをする	3語言える	簡単な命令を実行する (新聞を持っていらっしやい) など。
1: 2				2-3歩あるく	コップの中の小粒をとり出そうとする	お菓子のつみみ紙をとって食べる	ほめられると同じ動作をくり返す	2語言える	要求を理解する (3/3) <small>(おいで、ちょうだい。)</small> <small>(ねんね)</small>
1: 0				座った位置から立ちあがる	なぐり書きをする	さじで食べようとする	父や母の後追いをする	ことばを1-2語、正しくまねる	要求を理解する (1/3) <small>(おいで、ちょうだい。)</small> <small>(ねんね)</small>
0: 11				つたい歩きをする	おもちゃの車を手で走らせる	コップを自分で持って飲む	人見知りをする	音声まねようとする	「バイバイ」や「きょうなら」のことばに反応する
0: 10				つかまって立ちあがる	びんのふたを、あけたしめたりする	泣かずに欲求を示す	身ぶりをまねする (オウムテンテンなど)	さかんにおしゃべりする (喃語)	「いけません」と言うとき、ちよつと手をひっこめる
0: 9				ものにつかまって立っている	おもちゃのたいこをたたく	コップなどを両手で口に持っていく	おもちゃをとられると不快を示す	夕、夕、チャなどの音が出る	
0: 8				ひとり座って遊ぶ	親指と人さし指でつかもうとする	顔をふこうとするといやがる	鏡を見て笑いかけたり話しかけたりする	マ、バ、バなどの音が出る	
0: 7				腹ばいで体をまわす	おもちゃを一方の手から他方に持ちかえる	コップから飲む	親しさと怒った顔がわかる	おもちゃなどに向って声を出す	親の話し方で感情をききわける (禁止など)
0: 6				寝がえりをする	手を出してものをつかむ	ビスケットなどを自分で食べる	鏡に映った自分の顔に反応する	人に向って声を出す	
0: 5				横向きに寝かせると寝がえりをする	ガラガラを振る	おもちゃを見ると動きが活発になる	人を見ると笑いかける	キャーキャーいう	母の声と他の人の声をききわける
0: 4				首がすわる	おもちゃをつかんでいる	さじから飲むことができる	あやされると声を出して笑う	声を出して笑う	
0: 3				あおむけにして体をおこしたとき頭を保つ	頬にふれたものを取ろうとして手を動かす	顔に布をかけられて不快を示す	人の声がかかる方に向く	泣かずに声を出す (アー、ウァ、など)	人の声でしずまる
0: 2				腹ばいで頭をちよつとあげる	手を口に持っていつてしゃぶる	満腹になると乳首を舌でおし出したり顔をそむけたりする	人の顔をじいっと見つめる	いろいろな泣き声を出す	
0: 1				あおむけでときどき左右に首の向きをかえる	手にふれたものをつかむ	空腹時に抱くと顔を乳の方に向けてほしがる	泣いているとき抱きあけるとしずまる	元気な声で泣く	大きな音に反応する
0: 0				移動運動	手の運動	基本的習慣	対人関係	発 語	言語理解
(年:月)	暦移手基対発言	移動運動	運 動	年の本 人的 語	運動	社 会 性	言 語	年齢運動 習 慣 係 語 解	語 理 解